

自分らしく輝く 

Free Style

としこ
大橋壽子さん

(希望が丘自治会 [神戸校区] 自主防災会防災リーダー)

市内の全111名の防災リーダーのうち、たった一人の女性。
男性が多い地域防災の分野に、新しい風を吹き込む大橋さん
にお話を伺いました。



Q 防災リーダーは男性ばかりですが、不安な気持ちはありませんか？

A 防災リーダーに決まったときは、これまでずっと男性がやってきたことを、私にできるのか心配でした。災害時に、どこまで自治会の皆さんをまとめられるか不安はあります。でも、リーダーになった以上はがんばらないといけないと思っています。

Q 女性防災リーダーとして活動する大橋さんは頼もしく感じます。

A 防災リーダーになって4か月。まだまだわからないことばかりです。5月に出席した防災リーダー研修会は、とてもいい勉強と経験になりました。実際に災害が起きたら、研修で学んだことを生かして行動したいです。

Q 防災リーダーとして、どのように地域の防災に取り組みたいですか？

A 災害時は、子どもや妊婦さん、障害者、高齢者、外国人やペットなど、いろいろな方や生きものへの配慮が必要です。女性ならではの気づかいや優しさをもって、地域の方の先頭に立ってがんばりたいです。



▲地区の防災訓練で中学生と一緒に消火訓練を行う大橋さん

Q 防災リーダーのほか、自治会の副総代や住宅の管理人などもされているようですが、大変ではないですか？

A 役員は責任が大きいです。一人で全部を行うのは大変ですが、家族が仕事や家事を分担し協力してくれているので、何とかなっています。

Q 田原市の女性に、メッセージをお願いします。

A 自治会や自主防災会は男性が多いので、入りづらいなと思う方もいるのではないのでしょうか。でも、勇気をもって参加してみてください。とてもやりがいがありますよ。私はまだまだ防災リーダーとして経験不足ですが、市内の女性の皆さんに、「あの人もリーダーをやっているし、わたしもやってみよう」と思っただけだったらうれしいです。

女性ならではの視点で、地域防災を担っていこうとがんばる大橋さん。リーダーとして地域の皆さんを守りたいという、強く優しい気持ちがうかがえました。

※「防災リーダー」とは

各自治会にある自主防災会において、組織的な防災活動の推進を行い、地域の安全を守る地域防災のリーダー。災害発生時には、自主防災組織を適切に指示し、率先して行動することが求められる重要な存在。市内103の自主防災会で1～3名ずつ選任されている。